



## 本会記事

# 第32回プラズマ・核融合学会年会 一般講演の募集

一般講演を以下の要領で募集します。一般講演希望者は期日までにお申し込みください。

**1. 会期**：2015年11月24日(火)～11月27日(金)

**2. 会場**：名古屋大学東山キャンパス・豊田講堂

### 3. 講演者の資格

- 一般講演の講演者は原則として本会会員に限ります。入会手続きを完了していない場合は講演が認められません。
- 講演手続きと同時に入会手続きを行うことが可能です。詳しくはWebをごらんください。
- 外国人の場合は非会員であっても登壇できますが、参加費が別料金となります（参加費の項目を参照）。

### 4. 一般講演の発表形式

- 口頭発表およびポスター発表とします。口頭発表は1題目につき一律20分（発表15分、質疑5分）を予定しています。
- 口頭発表の件数が限られておりますので、口頭発表を希望してもポスター発表になる場合があります。また、連続講演の指定はお受けできません。

### 5. 講演募集分野

発表内容は、以下に記す分野に関して最近行われた研究で、学術的に価値のある未発表のものに限ります。

- (1)プラズマ基礎 (2)プラズマ応用 (3)核融合炉心プラズマ関係 (4)核融合炉工学関係 (5)核融合関連技術（波及技術）

### 6. 講演申込期限

Webによる受付締切：2015年8月7日(金)12:00

- 一般講演申込は、原則としてWebで受け付けます。【Web講演申込記入上の注意】に従って、期限までに申し込みください。どうしてもWebからのお申し込みができない場合は、申込用紙（事務局までお問合せください）を2015年8月6日(木)17:00本会必着でご郵送ください。
- Webでの申し込みは上記締切期限を過ぎますとアクセスできなくなるのでご注意ください。
- Web登録が受け付けられると、登録完了画面が表示され、受付番号を記載した電子メールが連絡代表者に送られます。この電子メールが届かない場合は正常に登録されていないことが考えられますので、その場合には8月

10日(月)17時までに必ず事務局までご連絡ください。

- 同一登壇者による複数講演は可能です。
- 発表の可否、講演番号は9月初め頃、電子メールでお知らせします。
- 講演申込で登録された登壇者名、講演題目がそのままプログラムに記載されます。受付締切後はこれらの項目の変更は認められません。
- やむを得ず年会当日に講演できなくなった場合には、速やかに事務局に連絡してください。

### 7. 講演予稿集について

Webによる講演予稿原稿提出期限：2015年10月30日(金)

- 【予稿原稿作成上の注意】に従って、必ず期限までに予稿原稿を提出してください。
- 予稿原稿は原則としてWebページから送信してください。FAX、電子メールへの添付による提出は受け付けません。
- 提出期限後においては、すでに提出された予稿原稿の内容書き換えあるいは掲載取り下げは認められません。
- 11月9日(月)以降に全ての予稿をWeb上で公開いたします。ただし、予稿を閲覧する際には、予稿原稿受理通知のWebページでお知らせするパスワードの入力が必要です。なお、講演なしで年会参加を予定されている方にも参加事前登録をしていただきますので、その登録終了画面にてパスワードをお知らせします。
- 予稿は冊子体では配布いたしませんので、ご自分に必要な予稿原稿はWebページからダウンロードしてご持参ください。
- 10月号会誌と同送いたします「年会プログラム冊子」は、年会ご参加の際、各自で必ずお持ちください。会場での配布はいたしません。会場内でプログラムを希望される場合には、部数に限りがあり、ご希望に添えない場合もあります。

### 8. ポストデッドライン(PD)講演(ポスターのみ)

- 講演申し込み締切後に、有意義かつ緊急に発表する価値があると認められる結果が得られた場合には、ポストデッドライン講演として申し込むことができます。
- Webでの指示に従い、11月9日(月)～11月13日(金)17時まで

- に事務局まで所定の内容を電子メールで送信してください。
- ・申し込み内容は事前に審査され、11月20日(金)までに採択結果を通知します。
  - ・審査の結果、発表が認められない場合もあります。

## 9. 現地企画特別講演会

題目「プラズマ援用による新材料創成」

講演者：天野 浩 教授（名古屋大学大学院工学研究科、  
2014年ノーベル物理学賞受賞者）

日 時：11月25日(水)17:00 – 18:00

場 所：豊田講堂

## 10. 懇親会

11月25日(水)18:30より「名古屋大学生協南部食堂1階「Meidining」」にて懇親会を開催します。

## 11. 関連行事

- ・特別講演、シンポジウム、懇親会等の最新の情報については年会Webページをごらんください。
- ・学会賞の授与式を本年会で行います。

## 12. 保育

- ・今年会におきましては、お子様をお連れの参加者の利便をはかるため、保育サービスを用意いたします。詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。

## 13. 現地連絡先・実行委員長

第32回年会 現地実行委員長：大野哲靖（名古屋大学）

年会に関するお問合せ：学会事務局

Tel: 052-735-3185 plasma@jpf.or.jp

[http://www.jpf.or.jp/jpf\\_annual2015/](http://www.jpf.or.jp/jpf_annual2015/)

## ■Web講演申込記入上の注意

下記Webサイト内のオンライン申し込みページからご登録ください

\*オンライン申し込みWebサイト：  
[http://www.jpf.or.jp/jpf\\_annual2015/](http://www.jpf.or.jp/jpf_annual2015/)

- ・講演申し込み内容の中には省略できないものがあります。その場合、注意画面が出ますので指示に従ってください。
- ・講演分野の欄には下記の一般講演分野細目に付した番号を記入してください。
- ・キーワードを3つまで記入してください。
- ・連絡代表者の方を記入する氏名欄と著者を記入する氏名欄があります（連絡代表者は原則として登壇者となります）。後者には登壇者を含む全員のお名前をご記入ください。
- ・講演内容要旨はプログラム編成上の参考としますので、

十分に内容がわかるように記述してください。

- ・講演申し込み時に講演受付番号をお知らせいたします。訂正、確認の際に必要になります。
- ・非会員の外国人が申込を行う場合は、お近くの学会正会員を連絡代表者とし、登壇者の会員番号欄には連絡代表者の会員番号をお書きください。

一般講演分野細目：主分野1件、また必要であれば、さらに従分野（主分野に次いで関係の深い分野）を1件（合わせて2件まで）

## ■一般講演分野細目

注意：昨年までの細目分類番号から変更されていますのでご注意ください。

1. プラズマ基礎
  2. 放電・プラズマ応用
  3. スペースプラズマ（宇宙プラズマ・天文）
  4. 非平衡極限プラズマ
  5. プラズマ計測（プラズマ素過程、原子分子、レーザー計測等を含む）
  6. 平衡・安定性
  7. 閉じ込め・輸送・乱流
  8. 加熱・電流駆動・高エネルギー粒子物理
  9. SOL・ダイバータ物理・定常運転
  10. 高ベータ・コンパクト系の物理
  11. 慣性核融合
  12. 高エネルギー密度プラズマ・高出力レーザー応用
  13. プラズマ加熱・粒子加速技術（イオン源、電磁波源等を含む）
  14. 電源・マグネット超伝導技術
  15. 真空・材料・プラズマ対向機器（第一壁、ダイバータ等を含む）
  16. 炉設計・炉工学（プランケット、燃料技術、トリチウム取り扱い等を含む）
  17. その他
- \*理論も、1-17の細目内で選んでください。

## ■予稿原稿作成上の注意

講演予稿原稿は、一般講演は1ページ以内、その他の招待講演、特別講演、特別企画、シンポジウム等での発表者は2ページ以内で作成してください。

Webページには原稿見本を用意しています。

- ・予稿原稿はA4縦長サイズ用紙に上下左右各15mmの余白をおいて作成してください。
- ・枠内左上隅の指定位置に学会事務局から通知された講演番号を記入してください。
- ・講演題目は中央揃えにして一行目から書いてください。
- ・予稿原稿の講演題目は講演申込時のものと必ず同一にしてください。
- ・講演題目（和文および英文）の下に著者名および所属略

称（和文および英文）を書き、1行以上の空行をおいた上で本文を書き出してください。

- 著者が多い場合、英文著者名の記載を5名程度とし後はet al.にしてもかまいません。
- 図表および写真は原稿内にそのまま貼り付けてください。
- Webから送信される場合は必ずPDFファイルとして作成してください。

## ■参加費および懇親会費について

(1) 一般講演のご登録をされる方： 従来どおり「一般講演申し込み画面」からご登録ください。
(2) 発表はしないで参加のみされる方： 「参加申し込み画面」から御登録ください。

- いずれの場合も、登録終了後、8月中旬以降順次、事務局からハガキ型払込取扱票（全国のコンビニエンスストアで使えます）を郵送いたしますので、期日までにお払い込みください。
- オンライン登録がおすすめでも、期日までに払い込みいただけない場合は、当日参加受付料金を頂戴いたしますので、御留意ください。
- 納入された参加費は、原則として返金いたしません。
- 事務処理の合理化をはかるため、原則として参加事前登録を行いますので、当日参加受付の場合には、参加費を1,000円割り増しさせていただきます。皆様のご協力とご理解を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

### 1. 参加事前登録受付期間：10/30(金)まで

	一般	学生
(1)正会員	8000円 (不課税) [登壇可]	3500円 (不課税) [登壇可]
(2)非会員	10000円 (税込) [登壇不可]	4000円 (税込) [登壇不可]
(3)外国籍のAPS/EPS会員	8000円 (税込) [登壇可]	3500円 (税込) [登壇可]
(4)上記(3)以外の外国籍の方	10000円(税込) [登壇する場合 には+2500円]	4000円(税込) [登壇する場合 には+1500円]

### 2. 10/31(土)～年会当日

	一般	学生
(1)正会員	9000円 (不課税) [登壇可]	4500円 (不課税) [登壇可]
(2)非会員	11000円 (税込) [登壇不可]	5000円 (税込) [登壇不可]
(3)外国籍のAPS/EPS会員	9000円 (税込) [登壇可]	4500円 (税込) [登壇可]
(4)上記(3)以外の外国籍の方	11000円(税込) [登壇する場合 には+2500円]	5000円(税込) [登壇する場合 には+1500円]

### 備考：

- シニア会員：2500円（不課税）[登壇可] 2015年3月31日時点で満65歳以上のかたは事前登録の有無に関わらずこちらの料金になります
- 賛助会員企業に属していらっしゃる方は正会員価格の参加費でご参加いただけます。

## ■学会座長へお願ひ

- 年会の運営においてはプログラムを時間どおりに進行させることが重要です。座長の方々から、発表者へ時間厳守を促してくださるようお願ひいたします。
- 年会の様子を参加できなかった方々へ紹介するため、シンポジウム、インフォーマルミーティングの座長あるいは司会の方に、発表の内容の要約と主な議論についての簡単なレポート（シンポジウム、インフォーマルミーティングについては各1,000字程度、レビュー講演、オーバービュー講演、米国／欧州物理学年会招待講演などを含む年会総括については2,000字程度）をお願いしております。年会終了後1週間以内に学会事務局まで提出願います。

## ■インフォーマルミーティングの募集

インフォーマルミーティング開催希望者は、締切期日までにWebで申し込んでください。代表者に後日、会場と日時をご連絡します。なお、調整をお願いする場合がありますことをあらかじめご了承ください。

- 当学会がご用意するのは会場のみです。設営と片づけは代表者の方が責任をもって行ってください
- 学会二日目（11月25日）夜は懇親会が行われますので、インフォーマルミーティングは、開催できません。
- 会場の使用時間は20時30分までとなっています。この時間の5分前までに片づけを終えて、係員の点検を受けてください。時間延長は不可です。

応募期限：2015年8月7日(金)昼12時

### 記入事項：

- ミーティングのタイトル
- 司会者 氏名・連絡先・会員番号
- 開催希望日：11/24(火)・11/26(木)
- 参加見込み人数
- その他（希望事項など）

### 実施レポートについて：

年会の様子を参加できなかった方々へ紹介するため、インフォーマルミーティング司会の方に、発表の内容の要約と主な議論についての簡単なレポート（1,000字程度）をお願いしております。年会終了後1週間以内に学会事務局まで提出ください。

## ■若手学会発表賞を授与します

今年会においても、学会の関与する学術分野の発展に貢献する優秀な一般講演論文を発表（口頭発表またはポスター発表）した若手・学生会員に対して、「若手学会発表賞（旧：若手優秀発表賞）」（未来エネルギー研究協会協賛）を授与いたします。受賞者には、会長名の賞状および副賞を贈呈します。

「若手学会発表賞」の受賞は、次の条件をすべて満たす方が対象となります。受賞候補者となるには、事前の申請が必要ですので、ご注意ください。

- (1)本学会の会員。ただし、入会手続き中の者は会員とみなします。
- (2)年会開催年4月1日（2015年4月1日）において満35歳以下または会議開催中に学生である方。ただし、出産・育児等により長期休業された方は、年齢制限が緩和され

ますので、事務局までご相談ください。

- (3)一般講演論文の筆頭著者の方。
- (4)年会開始前に本賞候補者として事前申請している方。
- (5)年会に参加登録し、かつ実際に登壇発表した方。
- (6)本賞を過去に受賞したことがない方。

今年会の「若手学会発表賞」は、プラズマ物理、プラズマ応用、核融合、炉工学等の研究分野から、全体で8件を上限として、本学会若手学会発表賞審査委員会による厳正な審査の上、受賞者を選びます。

尚、受賞者の決定は、すべての候補者の講演終了の直後に行い、今年会のクロージング（閉会式）にて表彰を行います。したがいまして、候補者の方は、可能な限り、クロージングにも出席してください。

受賞資格を有する方は、ふるってご申請ください。幅広い研究分野から、多くのご申請をお待ちしております。

## ★ プラズマ・核融合学会誌に投稿しませんか？ ★

毎月皆様のお手元にお届けしているプラズマ・核融合学会誌には、論文投稿のほかにも、皆様のお役にたてそうな投稿項目がいくつかあります。どうぞお気軽にご利用ください

### #研究開発活動アピール#

研究グループ、最新研究活動、最新設備、新規開発製品などを紹介できるページです。カラーの図や写真およびその説明文（200字以内）のみのカラーグラビアの掲載も可能です。掲載料（別刷100部付き）は、当学会会員・賛助会員12,000円／頁、非会員24,000円／頁です（それぞれ税別）。

### #会議報告#

会合やワークショップの開催記録を、学会誌に写真とともに掲載しませんか？掲載料は12,000円／頁（税別）です。

### #プロジェクトレビュー#

プラズマならびに核融合に関連して行われた個人や研究グループ、大学等の組織のプロジェクト研究の成果を紹介するページです。科学研究費等の補助金に支援された研究や大学評価等の成果報告などの外部評価の報告書としてもご利用ください。過去の掲載事例は <http://www.jspf.or.jp/journal/PR.html> からご覧いただけます。掲載料は12,000円／頁（税別）です。

### #人事公募#

新しいやる気にあふれた人材の公募にご利用ください。原則的に発行前月の25日締切。掲載料は12,000円／頁・6000円／0.5頁（それぞれ税別）です。学会誌の発行に先行して学会Webで公募情報を公開することも可能です。

お問い合わせは学会事務局（052-735-3185）までお願ひいたします。